

広報

あいあい



5年振り!

体育祭



第62回西原地区



10月8日、西原小校庭には、体育館工事のため1周100m余に縮小したトラックを囲んで、校舎を背にした本部席テントと、12の参加自治会のテントが並んだ。5年振りの体育祭に、集まった400人ほどのおとも子どもも、スタッフも心が浮き立つ。

体育協会長はあいさつで、開催の喜びとまだまだ必要な感染対策、体育祭の目的は各自治会の親睦と健康増進であること、今回は全員が賞品を手に行けるようにと話した。

「体育の日は体育祭」が恒例だった時代もあったが、秋休み期間中の連休で他の予定を組んでいるなど、選手の確保が難しくなっている。少ない人数での参加や合同チームでの参加、やむを得ず参加を見合わせる自治会もある中、前回まで合同チームで参加してきた茂登町は、単独チームでの参加に踏みきり結束力を示した。

定番の自治会対抗競技の玉入れ、綱引き、リレーでは、力を合わせた熱戦に、応援の聲が響き渡った。

午前中ですべての競技を終え参加者は賞品を抱え笑顔で帰路についた。天候にも恵まれ、秋風が心地よい晴れやかな体育祭となった。

*上位入賞 成績

- 1位 花房本町自治会 70点
- 2位 伊賀町北部 66点
- 3位 陽南東部 62点

主な内容

- 表紙 体育祭
- 2P 敬老の日に寄せて
- 4P 花火大会

★祝！新百歳！



18日の敬老の日を前に、百歳を迎えた花園西部の園部三郎さんに社会福祉協議会会長の檜山和子さんから感謝状と花束が贈呈された。...

*百寿 おめでとーございませす！

堀田トミさん 花房本町 京極ツカさん 陽南東部 園部三郎さん 花園町西部



《敬老の日によせて》

総務省によると全国の75歳以上の高齢者は2005万を超え、総人口の16.1%を占める。...

◆フードドライブって何？

フードドライブとは、家庭で余っている食品や企業の過剰在庫などを集めて支援が必要な家庭や団体に届ける活動のこと。...

8月30日、西原小コミセンに於いてフードバンクの協力により食品配布会を開催した。午後3時、子どもたち50人ほどがコミセン入口から2階会議室まで長い行列を作った。...

◆花房本町新集会所でお見見



これまで、集会所がなかった花房本町自治会では、かつて住んでいた家を地域に寄贈したいという申し出を受け、このほど、正式に空き家を集会所として運営を開始した。...

早速、9月29日、月見団子やイモ汁を作り、玄関や廊下にススキや秋の草花、栗や柿などを飾り、すっかり十五夜の準備は万端。...



●新敬老者を代表して



「敬老の日を迎えて」佐藤とみ子 40代前半で宇都宮に来て、早35年いろんな事がありました。...

60代では、母の介護で実家を往復し、妹達と助け合いながら、10年近く施設に入居する迄、続けました。...

◆バス旅行

9月3日、子連主催のバス旅行が行われ、小学4〜6年生14名、役員10名が参加した。...

一行は、大洗のアクアワールドでイルカやアシカのショーを楽しんだ後、水族館を見学、その後、デッキで潮風に吹かれながら昼食をとった。...

それから、海沿いで打ち寄せる波を楽しんだ後、大洗磯崎神社を参拝、最後に大洗マリントワーの高さ55mの展望台から360度の眺望を堪能して帰途についた。...



いにしえ 古を訪ねて

小牧ミチ子さん(92歳)



小牧ミチ子さん(92)は、白沢の農家に生まれた。農繁期にはその手伝いで一年の半分は学校に通わせてもらえなかった。...

昭和30年代の新町通りの両側には深さ1メートル程のドブがあった。大雨が降ると水があふれ出てしまうこともあり陳列した商品の出し入れに苦労したそう。...

ご主人の英治さん(享年82歳)は、社長業に加え栃木県鉄工業協同組合会長、西原小、一条中のPTA会長の活動で不在が多かったためにその片腕を担ってきた。...



今後の行事予定

- 防災訓練は、コロナ禍の中で早くも流行し始めたインフルエンザを考慮して中止となりました。
・地域PTA文化祭 11月19日
・コミセン作品展 11月18日・19日
・どんど焼 令和6年1月14日
・ふれあい福祉まつり 令和6年1月28日



あいあいサイト

★第3回 花火大会



8月19日、第3回西原地区花火大会が開催された。今年も地域の各団体、企業、個人の皆さんから協賛金を賜り、479発の花火が一条中学校と青葉高校の校庭から打ち上げられた。歩行者天国となった西原通りと西原小学校の校庭には、浴衣を着た家族連れなど約400人が詰めかけた。



「ドン」という地鳴りのする爆発音の後に煌めく大輪が夜空に広がると大きな歓声と拍手が湧いた。花火を体感できるのは地元ならではのことだ。住宅街での花火の打ち上げは、事故が起きないように花火師、消防第2分団、花房交番が万全の対策を講じて、実施されている。酷暑の中、子連、体協、PTA、YCCなどによって準備や警備、後片付けが手際よく行われた。花火大会は、地域の真夏の風物詩として住民に定着しつつある。



◆西原セミナーで『陶芸教室』



西原セミナーは、通常在校生及び卒業生の保護者を対象に行っているが、8月は夏休みの宿題を兼ねて子どもも参加できる講座にしている。

今回は陶芸教室で4組の親子が参加した。各々が楽しみながら作業していたが、工夫を凝らした満足のいく作品ができたようだ。



●趣味ゆうゆう

【能】観世流

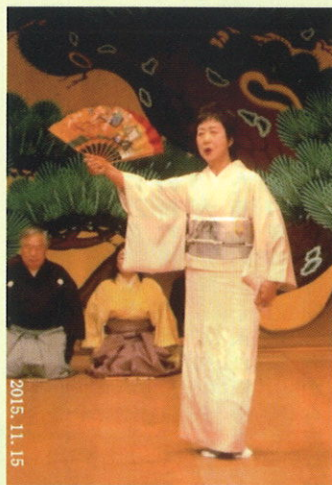
西原二丁目 村田和子



年に一度のおさらい会
(東京銀座フックスに於いて)



紅葉符の舞



羽衣の舞

※コミセンに日光より師範を迎えて練習を行っている。



《あとがき》
地域で百歳を過ぎてても元気に暮らすお年寄りに共通点がある。大きな声ではっきりと話し、おしゃれなことだ。家の中ではなんでもおいしい派の私。自分に喝を入れるために、鏡に映る自分を意識しようと思に決めた。